

受賞者「鏡山学区自治連合会/京都市山科区役所」

＜地域と区役所が連携したモビリティ・マネジメントの実施による路線バスの復活＞

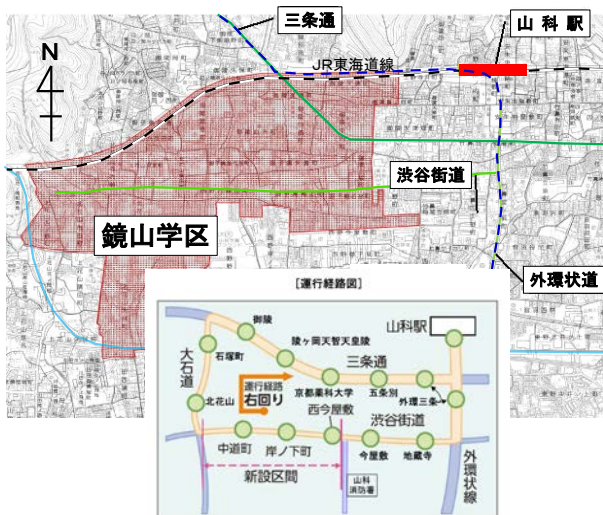
バス利用促進のため「お試し乗車券」の配布や便利ダイヤの作成（バスの時刻表に平日、休日におけるバスを活用したレジャーやショッピングに活かせるモデルコースを提案）・配布を行うなど、様々な工夫がなされている。

また、学区の中学生による利用促進ポスター制作、地区行事におけるバス利用促進周知を行い、単に要求だけをするのではなく、バスは乗らなければなくなるとの認識のもと、運動を続けており、事務局が視察した5月9日の午前便は39名もの利用があり路線バスが地域住民の暮らしに欠かせないものとなっている。今まで、自家用車を利用していた高齢者が、バス利用に移行することにより年間約37トンのCO₂削減効果があり環境負荷低減にも貢献している。

1. 京都市山科区鏡山学区での取組の概要

鏡山学区は京都市山科区の北西部に位置し、人口約12,600人、約5,700世帯(平成27年国勢調査結果)の住宅地を中心とした地域で、域内には古くから山科駅と学区を結ぶ路線バスが存在していましたが、京都市営地下鉄東西線の開通に伴う大幅な路線の見直しにより、平成8年3月に廃止されました。

近年、急速に高齢化が進展する中で、学区からの強い要望により、平成25年3月から実証運行として山科駅と鏡山学区を循環する1日2便(午前・午後)の路線バスを1年間の期間限定で試験運行することとなりました。それ以降、地域住民(鏡山学区自治連合会)が主体となり、山科区役所と連携し、バス利用促進と利便性向上に向けたMMの取組が、現在に至るまで実践されています。



2. 本格運行に向けてのMMの取組

平成25年度の実証運行当初は、目標乗客数(20人以上/便)に至らない厳しい状況でしたが、鏡山学区ではMMを地域コミュニティの最重要課題と位置づけ、アンケートの実施により、利用実態及び利用ニーズ等を把握したうえで、利用促進を目的とした啓発チラシ(お試し乗車券付)の配布、学区内の中学生が制作した啓発ポスターの沿道掲示、高齢者が参加する公園体操の会場及び街頭での啓発活動、便利ダイヤ(バス運行時間で日常生活及び休日レジャーに活かせる提案コースを示したダイヤ)の作成・配布等のMMの取組を強力に推進した結果、目標乗客数が確保され、平成27年3月からの本格運行に至りました。

▼啓発ポスター



▼啓発ポスター掲示



▼便利ダイヤ
京都市動物園編

ダイヤ(休日)	京都市動物園情報
自宅付近バス停 ↓(鏡山バス) 10:44 山科駅着 ↓(地下鉄) 10:57 地下鉄山科駅発 ↓(徒歩) 11:02 地下鉄嵐山駅着 ↓(徒歩) 11:20頃 京都市動物園着 【約3時間半動物園滞在】 14:50頃 京都市動物園発 ↓(徒歩) 15:07 地下鉄嵐山駅発 ↓(地下鉄) 15:12 地下鉄山科駅 15:22 山科駅発 ↓(鏡山バス) 自宅付近バス停着	開園時間 9:00~17:00(3月~11月) 9:00~16:30(12月~2月) (注)入園は開園の30分前まで 休園日 月曜日の曜日が祝日の場合は翌平日 年末年始(12月28日~1月1日) (注)1月2日及3日は毎年の場合は開園し4日が休み 入園料金 中学生以下 無料 増入園券 2,400円 一般 団体 500円 一般30名以上

▼街頭啓発活動、調査



▼啓発活動



3. 本格運行後のMMの取組

平成27年3月の本格運行後も、アンケートにおいて要望が多かった、①バス停の増設②バス増便による利便性向上に向けて、引き続き、MMの取組を実施し、①のバス停については要望のとおり増設されました。また、②の増便を実現するためには、さらなる増客が必要という認識の下、アンケートを通じた意識の高揚、啓発看板の沿道設置、啓発チラシ及び啓発品(携帯ペンライト)の配布、自治連合会主催の餅つき大会での「鏡山循環バスに乗ろう」と記したお餅の配布など多彩なMMを行っています。こうした取組の結果、常時、1便当たり20~25人程度の乗客数が確保されています。

鏡山学区の取組は、住民に意識の変容をもたらす、バスの運行を交通事業者まかせではなく、「自分ごと」「みんなごと」の課題として捉え、地域を挙げて主体的にその解決に取り組む優れたMMの実践例となっています。

▼啓発チラシ、啓発品



▼啓発看板掲示



▼餅つき大会での配布(チラシ、餅)



4. MMによる効果

バスの乗客数が1便当たり平均22人確保できたことで、自家用車からのモーダルシフトによるCO₂削減量は、年間約37tに達しています。また、地域コミュニティの活性化といった大きな成果も得られています。



鏡山学区自治連合会
会長 岩崎 泰大

鏡山学区は、地域・家庭・学校が日頃から緊密に連携し、独自でのこども祭や敬老のつどい、防災訓練の開催に加え、学区民の想い出づくりとして循環式せせらぎによる蛍の育成とその鑑賞会、鏡山餅つき大会、高齢者や子どもたちの見守り活動や学区民の総合的なふれあい活動、今回表彰していただいた鏡山循環系統に係るMMの取組等、様々な事業を積極的に実行し、学区住民の皆様が安心して暮らせる地域づくりを行っています。



山科区役所
区長 堀池 雅彦

〒607-8511

京都市山科区柳辻池尻町 14-2

電話 075-592-3088

山科区は、京都の東の玄関口であり、水と緑に恵まれた自然豊かなまちです。

山科区の環境保全は平成23年策定の山科区基本計画における「環境を守り継ぐ」といった基本施策の下、様々な取組が実施されています。

「DO YOU KYOTO? (環境にいいことしていますか?)」を合言葉にしたライフスタイル・事業活動の中で、マイカーから公共交通へのシフトを目的とした取組を、地域と関係機関が参画した「山科区公共交通利用促進協議会」で意見交換を行いながら推進しています。